

防火の決意新たに

対馬市消防出初式

1月5日、厳原体育館で、消防団員745名、消防署員25名、豆酩地区婦人消防隊員40名の計810名が参加して、対馬市消防出初式が行われました。

式では市長の式辞のあと、消防庁長官、日本消防協会、県知事などの表彰や退職団員への感謝状が授与され、県知事などの祝辞、火の用心三唱、万歳三唱が行われ式典が終了しました。

また、市中パレードや放水訓練などは各支所で行われ、参加した団員は、今年一年の防火、防災の決意を新たにしています。

対馬市消防団（永留市喜團長）は、旧6町消防団が合併し、分団数98、団員定数2100人の県下最大の消防団組織になりました。地域を火事や災害から守る組織として、地域住民から大きな期待が寄せられています。

